5-6 東海・南関東地域における歪観測結果 (1984年5月~1984年10月)

> Observation of Crustal-Strains by Borehole Strainmeters in the Tokai and Southern Kanto Districts (May, 1984 - October, 1984)

> > 気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

気象庁の東海・南関車地域における埋込式体積歪計の配置図を第1図に,観測所の位置・設 置深度等を第1表に示す。第2図から第4図までは,それぞれ1975年度設置分の東海地域, 1976年度設置分の南関東地域及び1979年度設置分の東海地域の各観測所ごとの,日平均値に よる歪変化を示したものである。第5図(a)~(c)までは,1981年5月以後の歪変化の日平均 値を第1図に示した区域別に分けて図示したもので,これらには気圧補正を施してある。観測 地点名にCを付したのは気圧補正をした値である。第1区から第3区(網代を除く)までの資 料については棒原の気圧により,第4区から第6区までと網代の資料とについては,富津の気 圧により補正を行っている。第6図(a)~(f)までは1984年5月から10月までの歪変化の毎時 値を区域ごとに示したものである。地点名に付した括弧内の数字は設置年度を示す。各図の最 下段には各区域内の気象官署で観測された雨量を示してある。第5図(b)の東伊豆の値は第4 図にみられるドリフトを除去してある。

1984年5月~10月について各観測所共通に現われた変化としては、6月下旬の降水の影響によるものと、長野県西部地震(9月14日)によるステップ状変化とがある。

第6図(b)の静岡では8月13日頃からと9月14日頃から伸びの変化があった。

第6図(c)の網代では6月3日11時頃から3~4時間で0.35×10<sup>-6</sup>のステップ状変化があった。
第6図(d)の大島では7月18日に微小ステップ状変化が発生した。これは1983年10月1
日以来9か月半ぶりに発生したものである。微小ステップ変化はその後頻発した。その中で
10月30日にはやや大きいステップ状変化(約5×10<sup>-8</sup>:SP)が発生した。大島での歪は9
月初め頃から縮みの変化がやや急になった。

第6図(e)の鴨川では7月12日に縮み7月18日に伸びの変化があった。9月11日には2時間で0.1×10<sup>-6</sup>の縮みの変化があった。富津では8月13日に縮みのステップ状変化があった。

第6図(f)の八日市場では5月22日0.5×10<sup>-6</sup>,7月20日に0.2×10<sup>-6</sup>,9月2日に0.13×10<sup>-6</sup>,10月26日に0.5×10<sup>-6</sup>のそれぞれ縮みのステップ状変化があった。

## 第1表 体積歪の観測所一覧

Table 1 List of stations for volume strain observation

観	測	所 名	緯度	経	度	標高	設置 深度	岩 質	埋設時	観測開始
東海地址	或					m	m			
蒲	郡	GAMAGORI	34° 50′	137°	15'	38	100	花崗閃緑岩	'79.12.18	'80. 7. 1
天	竜	TENRYU	34° 54′	137°	53'	160	149	粘板岩	'79.12.14	11
Л	根	KAWANE	34° 56′	138°	05′	170	101	粘板岩	'79.11.21	"
藤	枝	FUJIEDA	34° 54′	138°	14'	50	101	礫岩 ( 傾斜角 50° )	'79.12.7	11
清	水	SHIMIZU	35° 06′	138°	31′	60	125	泥岩	'79.10.16	11
富	$\pm$	FUJI	35° 11′	138°	44'	210	92	凝灰角礫岩	'80. 2.29	11
土	肥	TOI	34° 52′	138°	46′	100	152	凝灰岩	'80. 2.14	11
東伊	豆	HIGASHIIZU	34° 49'	139°	03′	140	251	安山岩	'80. 1.14	11
浜	凿	НАМАОКА	34° 38'	138°	11'	35	250	泥岩(第三紀)	'77. 2.21	'77. 5.12
榛	原	HAIBARA	34° 47′	138°	12'	50	250	泥岩(第三紀)	'77. 2.23	11
伊良	湖	IRAKO	34° 38'	137°	05′	6	141	黒色片岩(古生層)	'75. 9. 5	'76. 4. 1
三ケ	日	MIKKABI	34° 48′	137°	33′	15	51	粘板岩(古生層)	'75.10.11	11
御前	崎	OMAEZAKI	34° 36'	138°	13'	45	208	泥岩(第三紀)	'75.11. 1	11
静	畄	SHIZUOKA	34° 58′	138°	24'	14	60	砂岩(古第三紀)	'75.11.19	11
石廊	崎	IROZAKI	34° 36'	138°	51'	55	133	安山岩・角礫岩	'76. 2. 2	11
南関東地域										
湯 河	原	YUGAWARA	35° 10'	139°	06′	187	150	火山礫凝灰岩	'80. 2. 5	'81. 5. 1
秦	野	HADANO	35° 24'	139°	12'	206	148	固結砂礫	'79.11.23	11
三	浦	MIURA	35° 09'	139°	39′	53	150	砂岩	'79.10.30	11
横	浜	УОКОНАМА	35° 32'	139°	33′	70	203	泥岩	'79.10. 5	11
H	野	HINO	35° 39′	139°	25'	140	148	固結細砂	'80. 2. 2	11
鴨	Л	KAMOGAWA	35° 07′	140°	05′	30	150	泥岩	'81. 1.17	11
富	津	FUTTSU	35° 13'	139°	54'	20	150	泥岩	'80.12. 3	11
大多	喜	OTAKI	35° 14'	140°	14'	100	250	泥岩	'80.12. 5	11
長	柄	NAGARA	35° 25′	140°	12'	50	250	細粒砂岩	'80.10.24	11
八日市	市場	YOKAICHIBA	35° 45′	140°	32'	55	300	泥岩	'80.11.14	11
大	島	OSHIMA	34° 46′	139°	23'	185	291	火山礫凝灰岩	'81. 4. 8	11
網	代	AJIRO	35° 03′	139°	06′	59	120	玄武岩・溶岩	'76. 9. 2	'77. 4. 1
横須	賀	YOKOSUKA	35° 15'	139°	43'	25	146	泥岩(新第三紀)	'76. 9. 8	11
館	山	TATEYAMA	34° 59′	139°	52'	6	190	泥岩	'76. 8. 4	"
勝	涌	KATSUURA	35° 09'	140°	19'	12	180	泥岩(新第三紀)	'76. 9.21	"
銚	子	CHOSHI	35° 42′	140°	51'	69	100	砂岩(古生層)	'76.12.24	11







Fig. 2 Secular variation of crustal-strains by borehole strainmeters in the Tokai District (daily mean values).



第3図 南関東地域における埋込式歪計による歪変化(日平均値)

Fig. 3 Secular variation of crustal-strains by borehole strainmeters in the Southern Kanto District (daily mean values).



第4図 東海地域における埋込式歪計による歪変化(日平均値) Fig. 4 Secular variation of crustal-strains by borehole strainmeters in the Tokai District (daily mean values).







 第5図 (a) ~ (c)
 1981 年以後の東海・南関東地域における地域別歪変化(日平均値,気圧補 正をした値)

Fig. 5 (a) - (c) Variation of crustal-strains by regions 1 - 6 shown Fig. 1 in the Tokai and Southern Kanto Districts since May, 1981 (daily mean values) . C - : Values corrected by barometric pressure.



Fig. 6 (a) - (f) Variation of crustal-strains by regions 1 - 6 shown in Fig. 1 in the Tokai and Southern Kanto districts, May, 1984 - October, 1984 (houly values).

第2区 (b)





第6図 つづき Fig.6 (Continued)



第6図 つづき Fig.6 (Continued)



Fig. 6 (Continued)





第6図 つづき Fig.6 (Continued)



## 第6区



第6図 つづき Fig. 6 (Continued)